

## 第Ⅶ章 食肉イベントに対する要望

## 第Ⅶ章 食肉イベントに関する要望

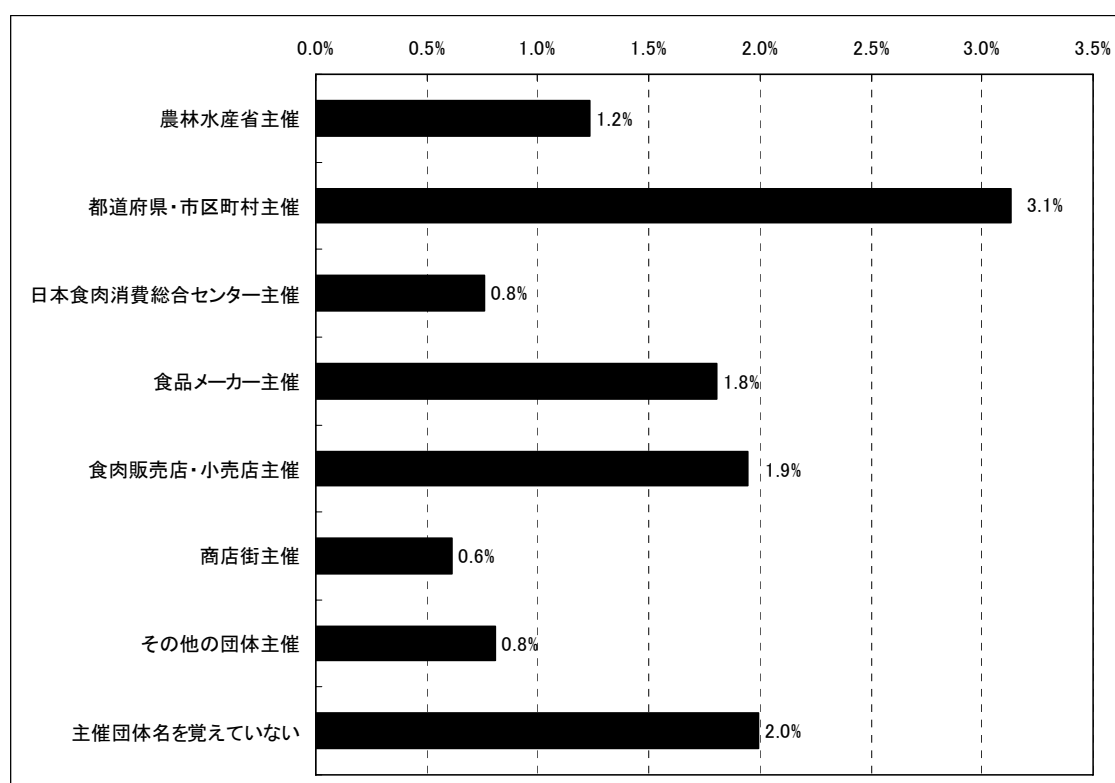
### 1. 食肉イベントへの参加状況

#### 1. 1. 食肉イベント参加状況の主催別特徴

食肉イベントへの参加状況を尋ねたところ、8.4%の人が何らかの食肉イベントに参加していることが明らかになった。

図表Ⅶ-1 主催別食肉イベント参加状況

(単位:%)



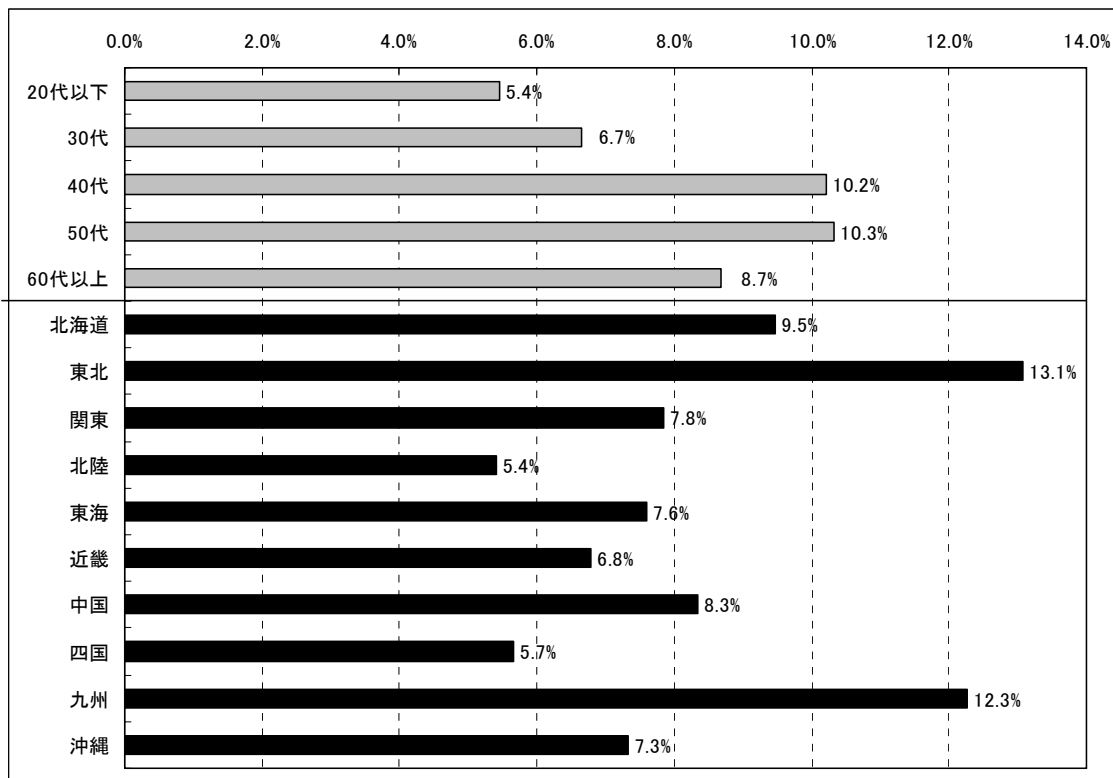
参加した食肉イベントを主催別に見ると、「都道府県・市区町村主催」の食肉イベントへの参加が最も多く、次いで「食肉販売店・小売店主催」、「食品メーカー主催」という順になった。

「主催団体名を覚えていない」という意見も多かったため、しつこくない程度には、主催団体名のアピールが必要なのではないかと考えられた。

## 1. 2. 食肉イベント参加状況の年代別・地域別特徴

図表Ⅶ-2 年代別・地域別食肉イベント参加状況

(単位:%)



何らかの食肉イベントに参加したことがある人を、年代別に見ると、「40代」および「50代」で多くなっているのが特徴的である。若年層である「20代以下」においては、5.4%と、参加率は低くなっている

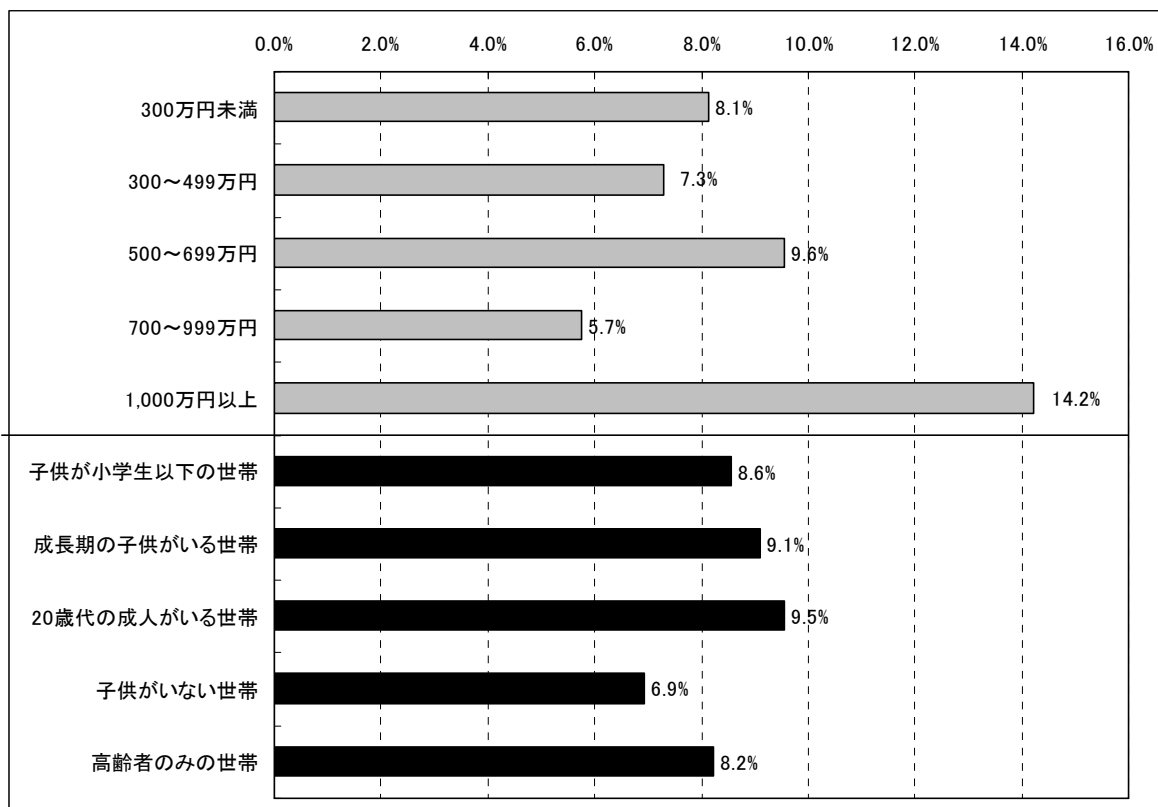
地域別に見ると、「東北」の13.1%、「九州」の12.3%が、それぞれ10%を超える高い参加率となっている。一方、「北陸」は5.4%、「四国」は5.7%で参加率が低い。

食肉に関する認知を高めるようなイベントについては、現在、参加率の低い、若年層や「北陸」、「四国」をターゲットとし、食肉に関する理解を深めるようなイベントについては、現在、参加率の高い、「40・50代」や「東北」、「九州」をターゲットにすると、目的に応じたイベントの開催が可能になるものと考えられる。

### 1. 3. 食肉イベント参加状況の世帯年収別・世帯構成別特徴

図表Ⅶ-3 世帯年収別・世帯構成別食肉イベント参加状況

(単位:%)



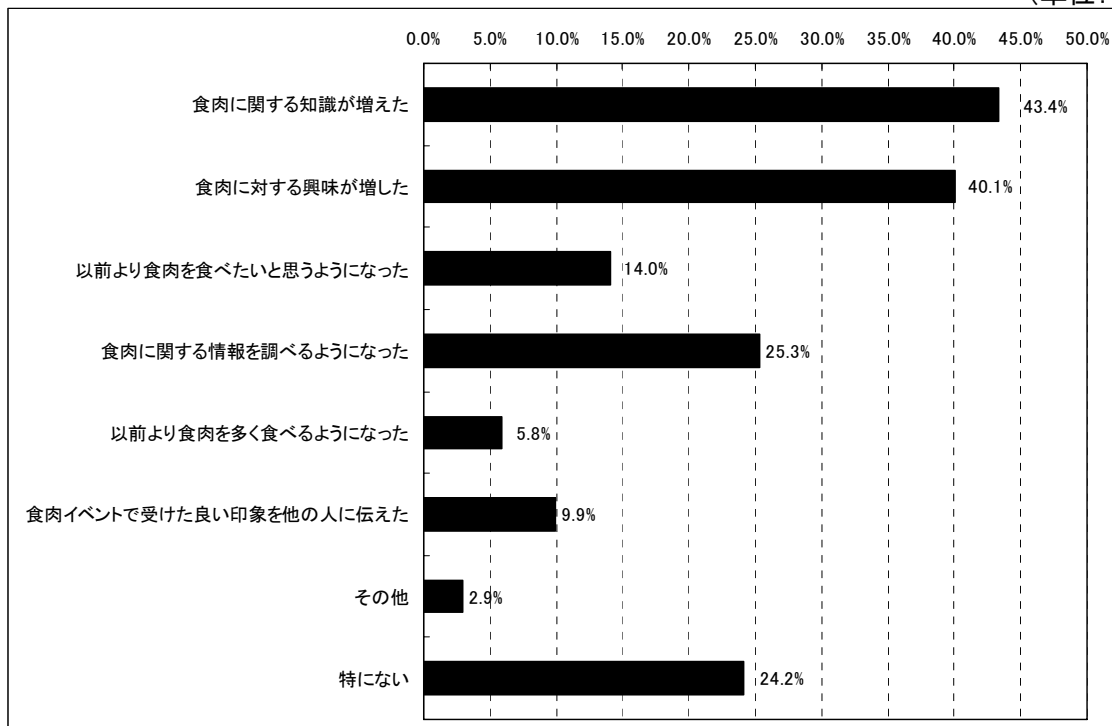
何らかの食肉イベントに参加したことがある人を世帯年収別に見ると、世帯年収「1,000万円以上」世帯が、14.2%と、突出して高くなっている。一方、世帯年収「700～999万円」世帯は、5.7%と低い。

世帯構成別に見ると、あまり大きな差は見られないが、「20歳代の成人がいる世帯」が9.5%と比較的高く、「子供がいない世帯」が6.9%と比較的低かった。

## 2. 食肉イベント参加による意識の変化

図表Ⅶ-4 食肉イベント参加による意識の変化状況

(単位:%)



何らかの食肉イベントに参加したことがある人に、参加による意識の変化について尋ねたところ、「食肉に関する知識が増えた」と回答する人が **43.4%**と最も多かった。イベントの参加が知識アップに効果的であることを示している。

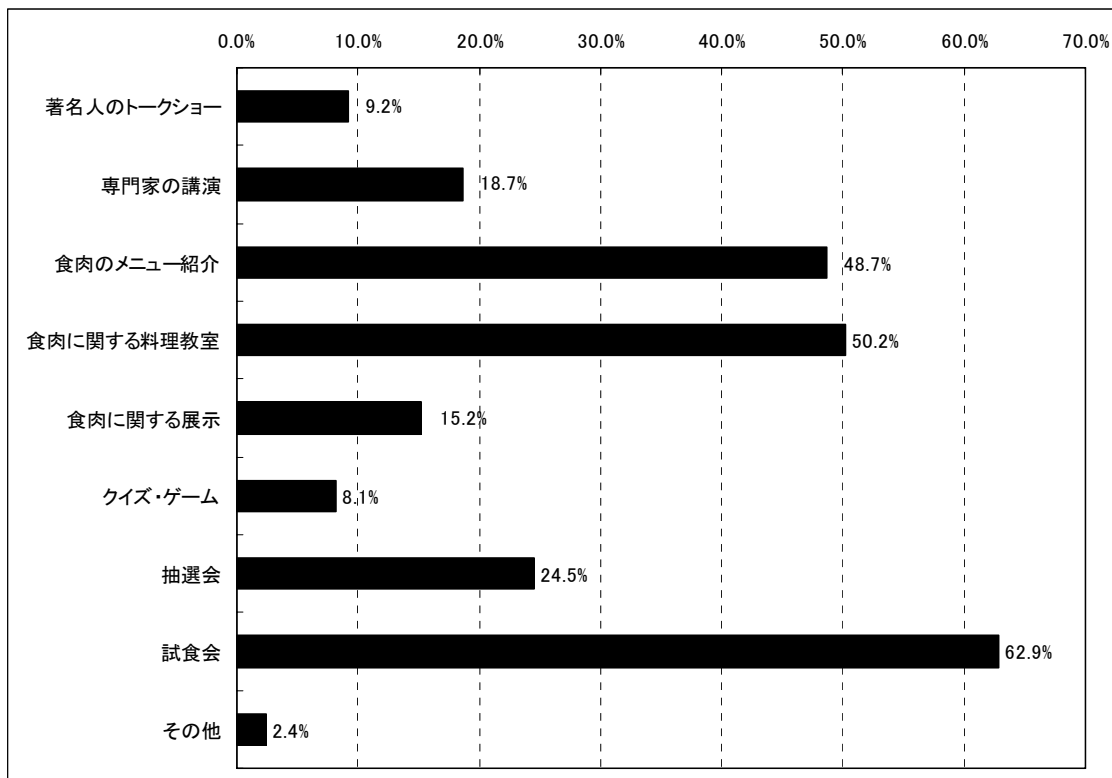
次いで多く挙げられたのが、「食肉に対する興味が増した」という意見であり、関心を高める上でも、食肉イベントが効果的であることが想定された。

「食肉に関する情報を調べるようになった」という意見も、**3**番目に多く挙げられており、イベント参加によって関心が高まり、さらにそのことが調べるといふ行動にまで発展している様子が伺える。このくらいのレベルにまで関心が高まった消費者に対して、インターネットやマスコミなど、様々な媒体を通じて、情報提供を行っていくことが、食肉に関する理解を促進していく上で、重要になってくる。

### 3. 興味のある食肉イベント内容

図表Ⅶ-5 興味のある食肉イベント内容

(単位：%)



興味のある食肉イベント内容について尋ねたところ、最も多かったのは「試食会」で、半数以上の **62.9%**が興味を示していた。やはり、実際に食べてみるという要素を含んだものが良いようである。

次いで、「食肉に関する料理教室」(50.2%)、「食肉のメニュー紹介」(48.7%)と続いた。

いずれも、調理や実際に食べるといったことに対する関心が高かった。

一方、「著名人のトークショー」や「専門家の講演」といった、知識系に関するイベントについては、若干関心が低い結果となった。

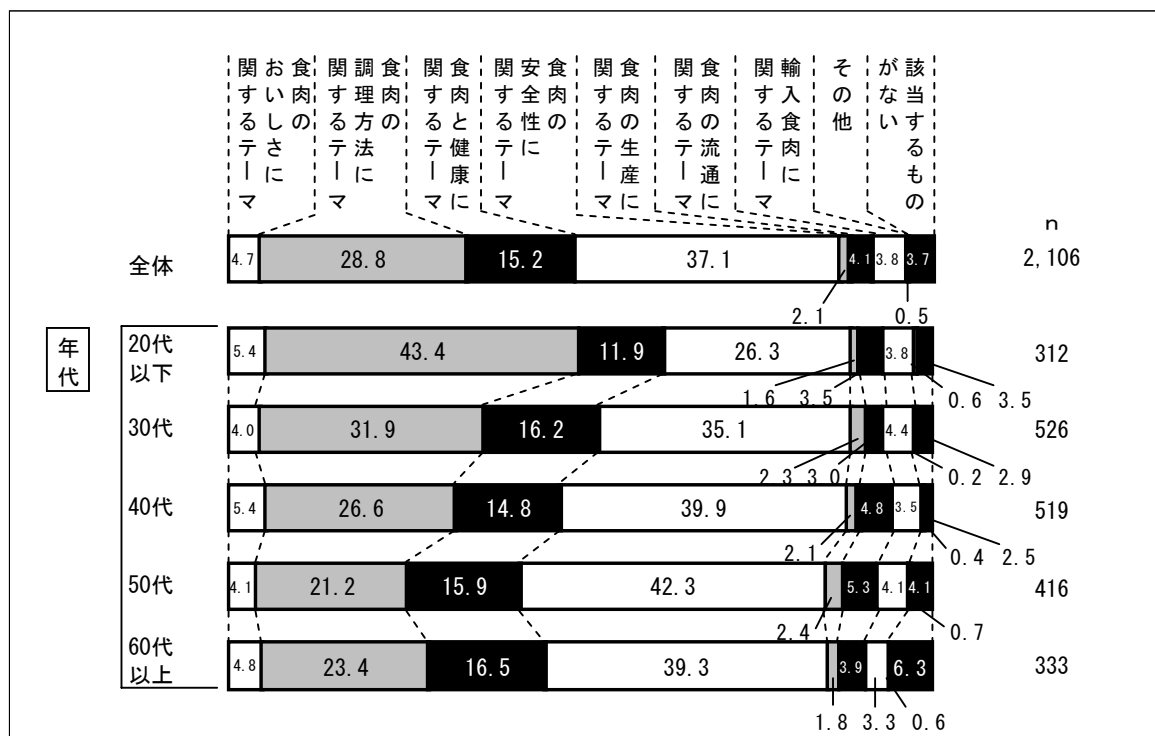
年代別、地域別、世帯年収別、世帯構成別の状況については、巻末の別添図表Ⅶ-1に示す。

#### 4. 興味のある食肉イベント・テーマ

##### 4. 1. 興味のある食肉イベント・テーマの年代別特徴

図表Ⅶ-6 年代別興味のある食肉イベント・テーマ

(単位:%)



全体で見ると最も関心の高い「食肉の安全性に関するテーマ」は「20代以下」から「50代」に至るまでは、年代の上昇とともに関心が高まっている。

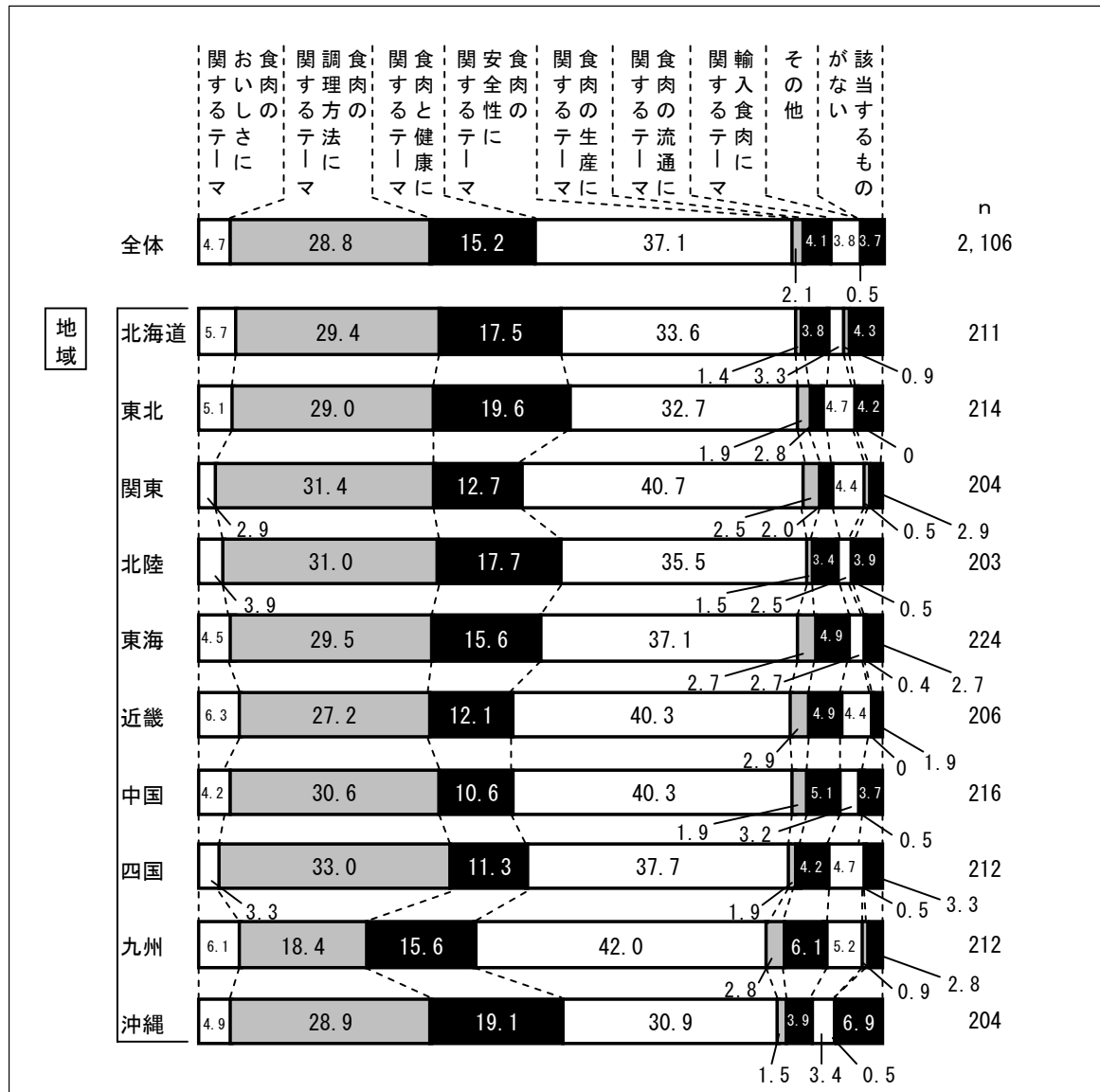
逆に、次いで関心の高い「食肉の調理方法に関するテーマ」は、「20代以下」から「50代」に至るまで、年代の上昇とともに関心が低くなっていく傾向にある。特に、「20代以下」ではこのテーマの関心が突出して高くなっている点が特徴的である。高齢者はある程度、調理方法に習熟しているが、若年層ではまだ、調理方法に関するニーズが高いためこのような状況になっていることが想定された。

これらの特徴より、若年層をターゲットに食肉イベントを開催する時には「食肉の調理方法」をテーマにし、中・高年層をターゲットに食肉イベントを開催する時には「食肉の安全性」をテーマにすると、より効率的な集客が可能となることが想定される。

#### 4. 2. 興味のある食肉イベント・テーマの地域別特徴

図表Ⅷ-7 地域別興味のある食肉イベント・テーマ

(単位:%)



「食肉の安全性に関するテーマ」は、「九州」の関心が最も高く、「沖縄」が最も低い。

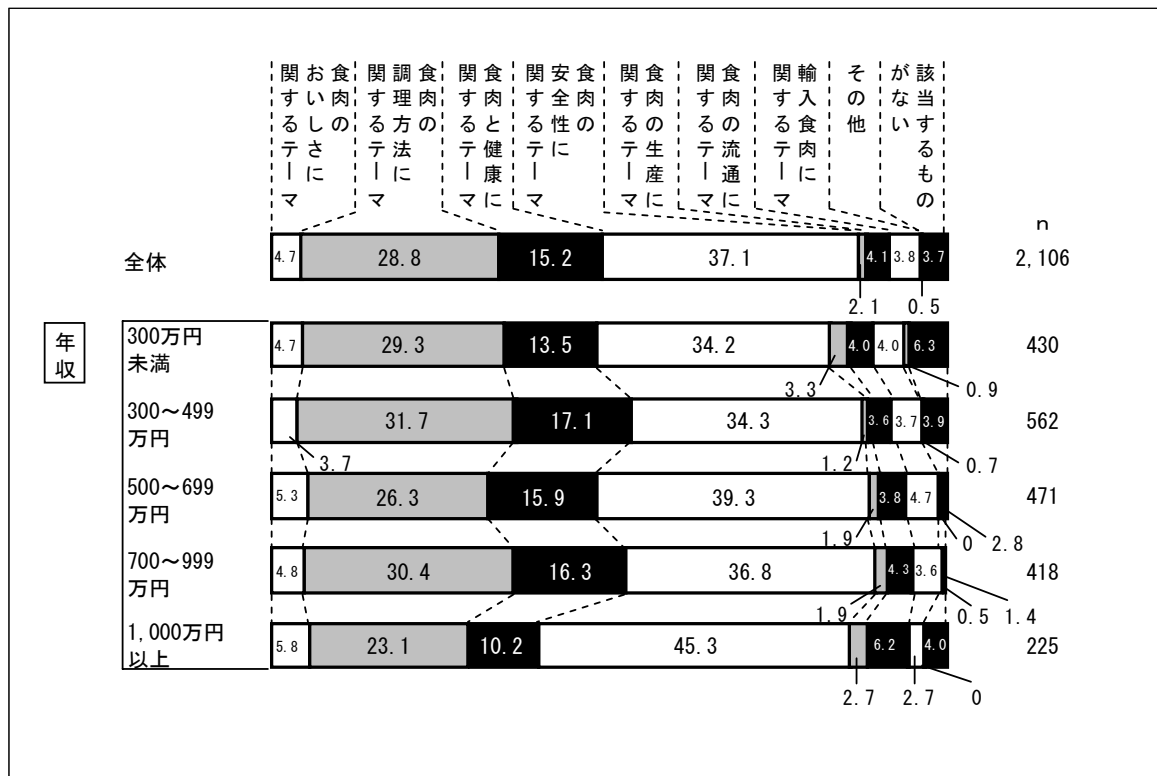
「食肉の調理方法に関するテーマ」は、「四国」の関心が最も高く、「九州」が最も低くなっている。



#### 4. 3. 興味のある食肉イベント・テーマの世帯年収別特徴

図表Ⅶ-8 世帯年収別興味のある食肉イベント・テーマ

(単位:%)



「食肉の安全性に関するテーマ」については、世帯年収「1,000万円以上」世帯で、45.3%と、他の世帯が40%に満たないのに対し、突出して関心が高くなっている点特徴的である。

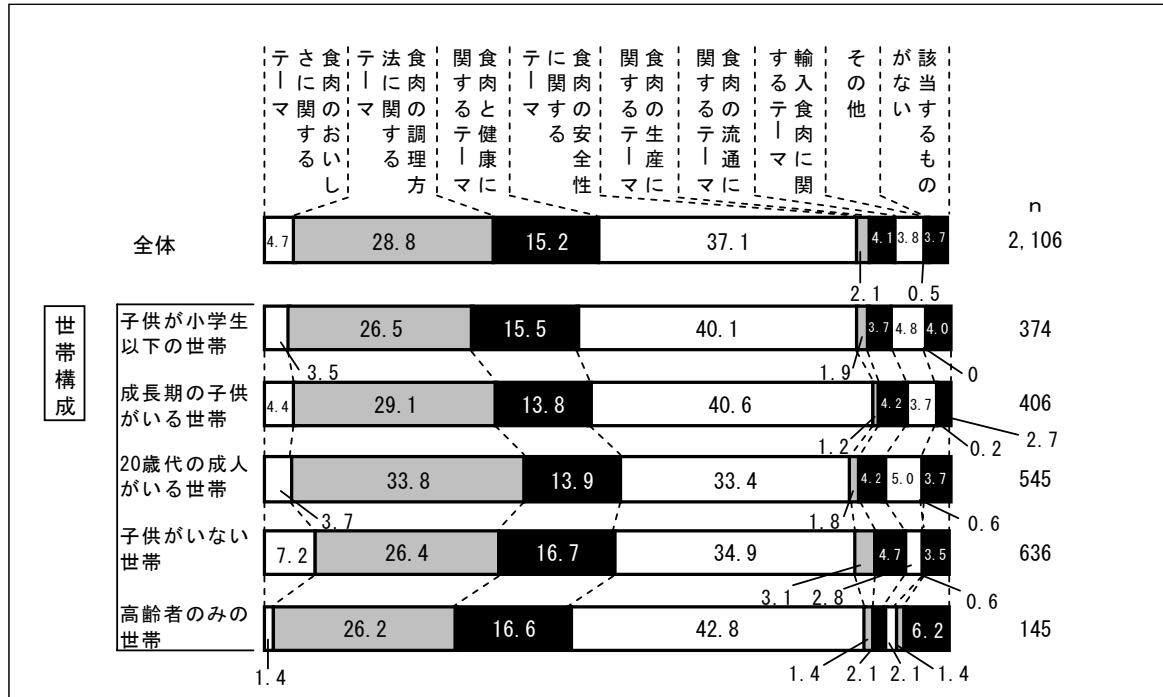
その一方、「食肉の調理方法に関するテーマ」では、世帯年収「1,000万円以上」世帯で、極めて低くなっている。

「食肉と健康に関するテーマ」も同様に、世帯年収「1,000万円以上」世帯で関心が低い。

#### 4. 4. 興味のある食肉イベント・テーマの世帯構成別特徴

図表Ⅶ-9 世帯構成別興味のある食肉イベント・テーマ

(単位:%)



「食肉の安全性に関するテーマ」については、「高齢者のみの世帯」で最も関心が高くなっており、年代別分析と一致する。

「食肉の調理方法に関するテーマ」は、「20歳代の成人がいる世帯」で最も関心が高く、この世帯では「食肉の安全性に関するテーマ」より「食肉の調理方法に関するテーマ」の方が、関心が高くなっている点が特徴的である。

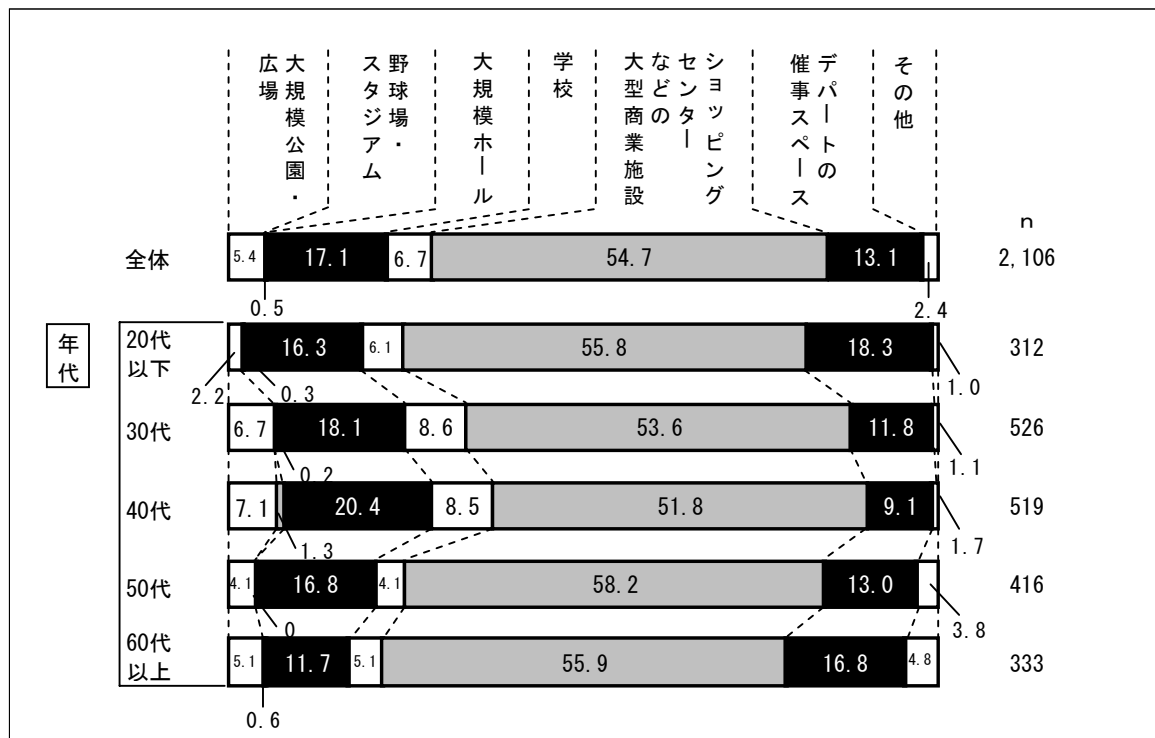
また、「子供がいない世帯」において、「食肉のおいしさに関するテーマ」が突出して高くなっている点も特徴的である。

## 5. 食肉イベント開催場所の要望

### 5. 1. 食肉イベント開催場所要望の年代別特徴

図表Ⅶ-10 年代別食肉イベント開催場所要望

(単位:%)



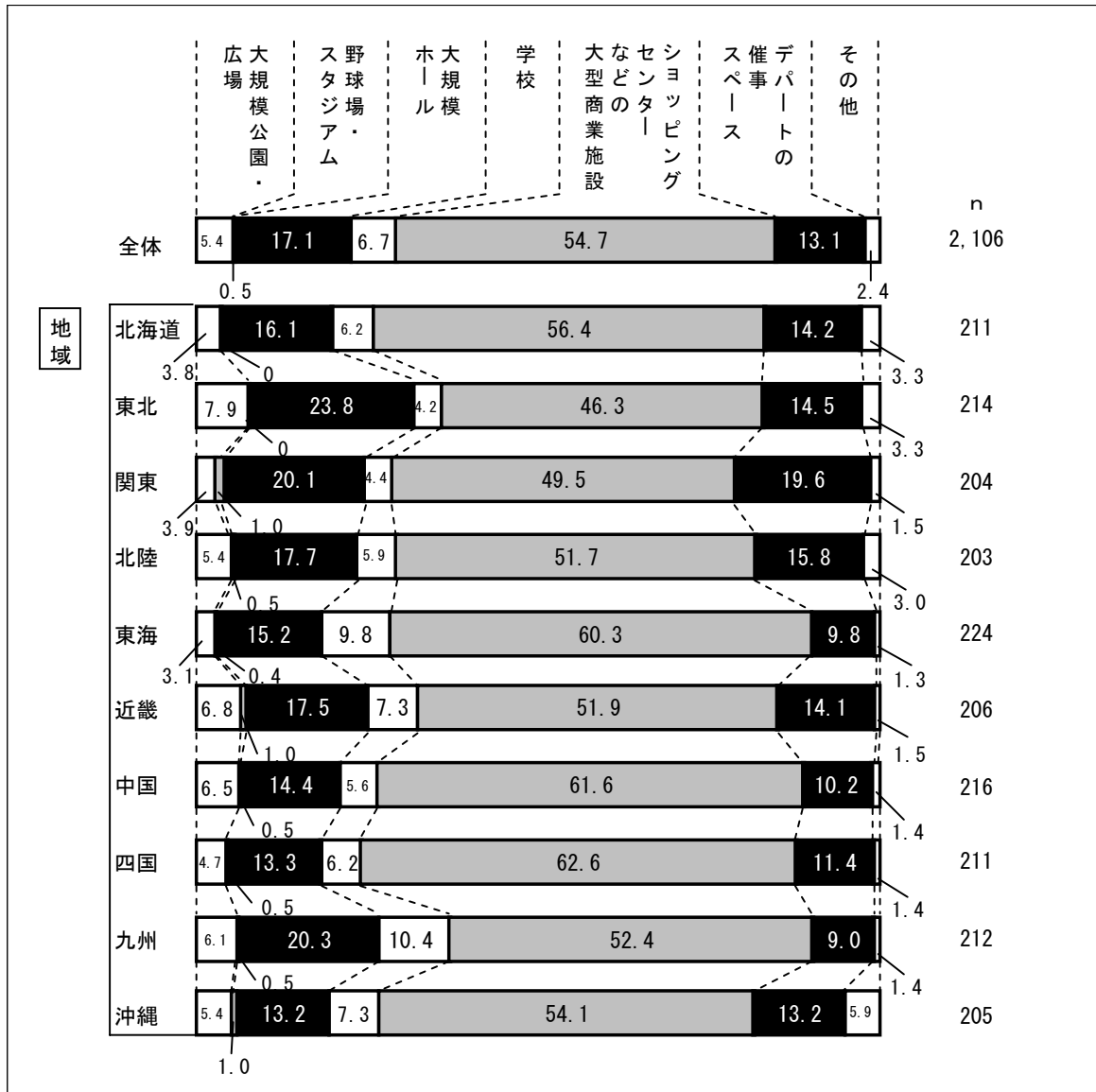
食肉イベントの開催場所の要望としては、「ショッピングセンターなどの大型商業施設」の人气が最も高く、どの世代においても半数以上が、この場所での開催を希望していた。おそらくは、買物のついでに、気軽な形での参加を望んで、このような要望になっていることが想定された。

次いで、全体的には「野球場・スタジアム」での開催ニーズが高く、特に「40代」からの要望が多かった。「30代」～「50代」については、「野球場・スタジアム」のニーズが2番目に高かったが、「20代以下」および「60代以上」では、「野球場・スタジアム」よりも「デパートの催事スペース」での要望の方が高かった。

## 5. 2. 食肉イベント開催場所要望の地域別特徴

図表Ⅷ-11 地域別食肉イベント開催場所要望

(単位:%)



「ショッピングセンターなどの大型商業施設」については、「四国」で最も要望が高く、「東北」で最も低くなった。

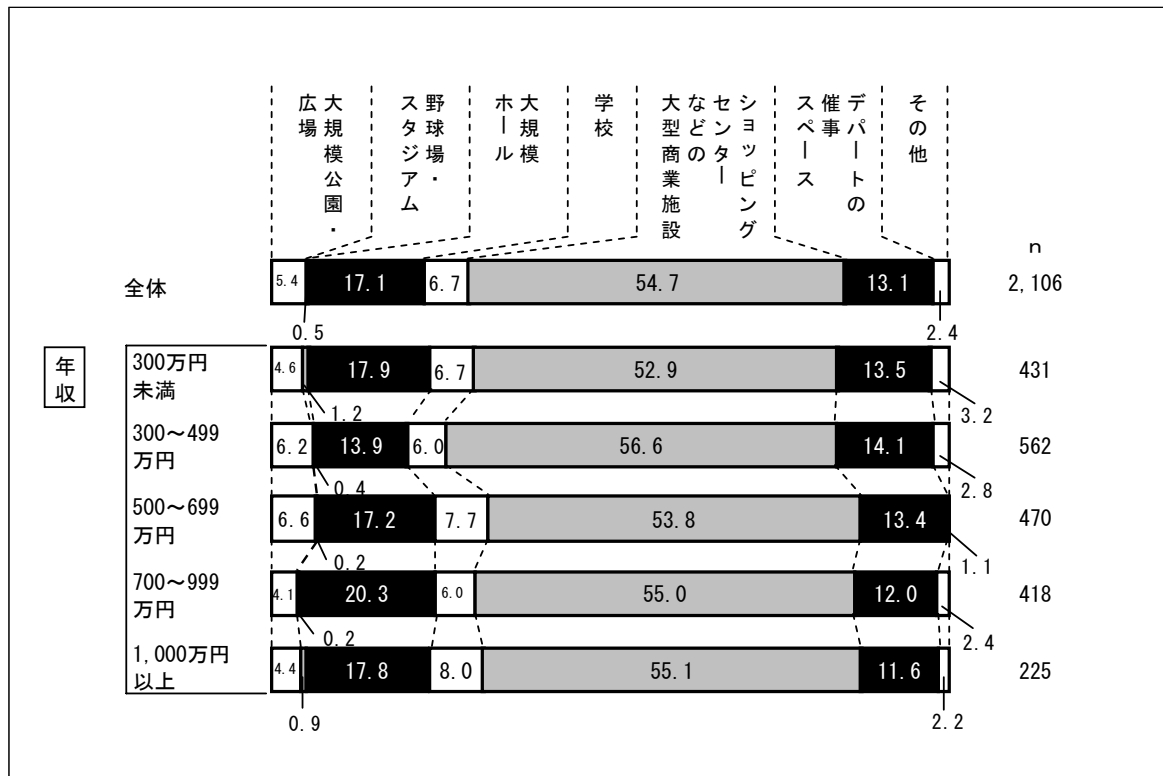
「野球場・スタジアム」については、「東北」で最も高く、「沖縄」で最も低かった。

「デパートの催事スペース」は、「関東」が最も高く、「九州」が最も低い。

### 5. 3. 食肉イベント開催場所要望の世帯年収別特徴

図表Ⅶ-12 世帯年収別食肉イベント開催場所要望

(単位:%)



食肉イベントの開催場所要望について、世帯年収別に大きな特徴は見られなかった。

「ショッピングセンターなどの大型商業施設」については、どの世帯からも要望が高く、過半数を超えていた。世帯年収「300~499万円」世帯で最も要望が高くなっていた。

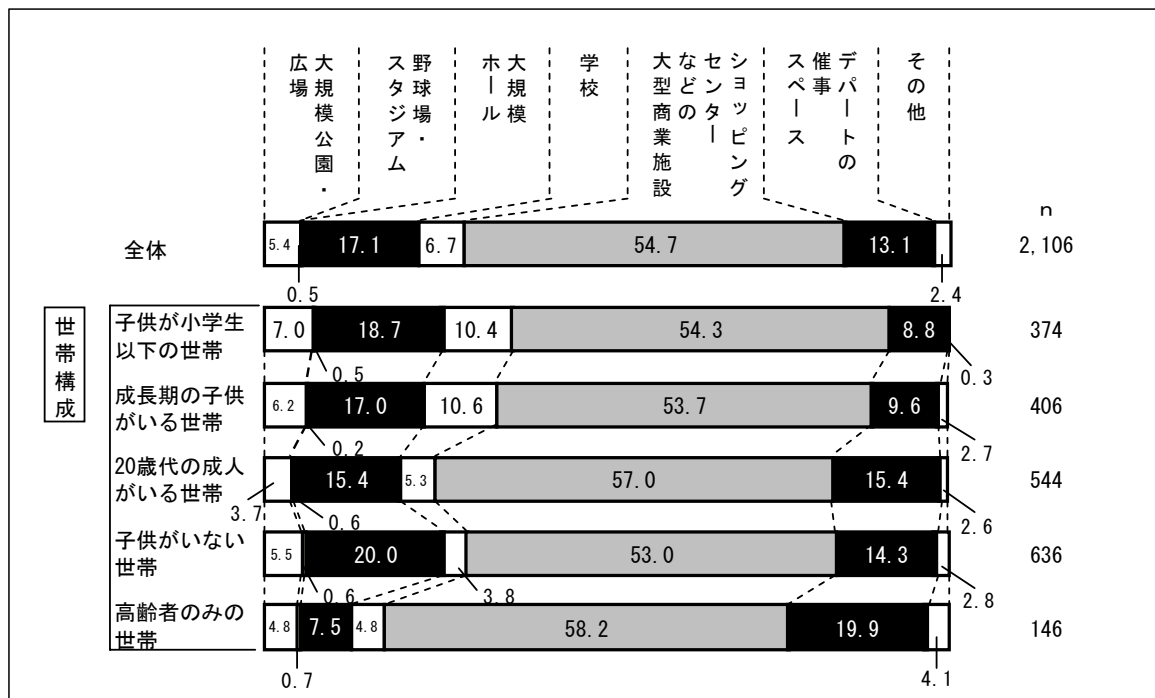
「野球場・スタジアム」については、世帯年収「700~999万円」世帯で最も高かった。

「デパートの催事スペース」は、世帯年収「300~499万円」世帯が最も高かった。

#### 5. 4. 食肉イベント開催場所要望の世帯構成別特徴

図表Ⅶ-13 世帯構成別食肉イベント開催場所要望

(単位:%)



「ショッピングセンターなどの大型商業施設」については、どの世帯からも要望が高く、過半数を超えていた。「高齢者のみの世帯」で最も要望が高くなっていた。

「野球場・スタジアム」については、「高齢者のみの世帯」で突出して要望が低くなっている点が特徴的であった。このことは、年代別分析においても、「60代以上」で要望が極度に低くなっていることと一致する。おそらくは、高齢になると、「野球場・スタジアム」のような大型施設を歩き回るのが辛いため、要望が低くなっているのではないかと想定された。

その反面、「催事のスペース」は、「高齢者のみの世帯」で最も要望が高くなっている。

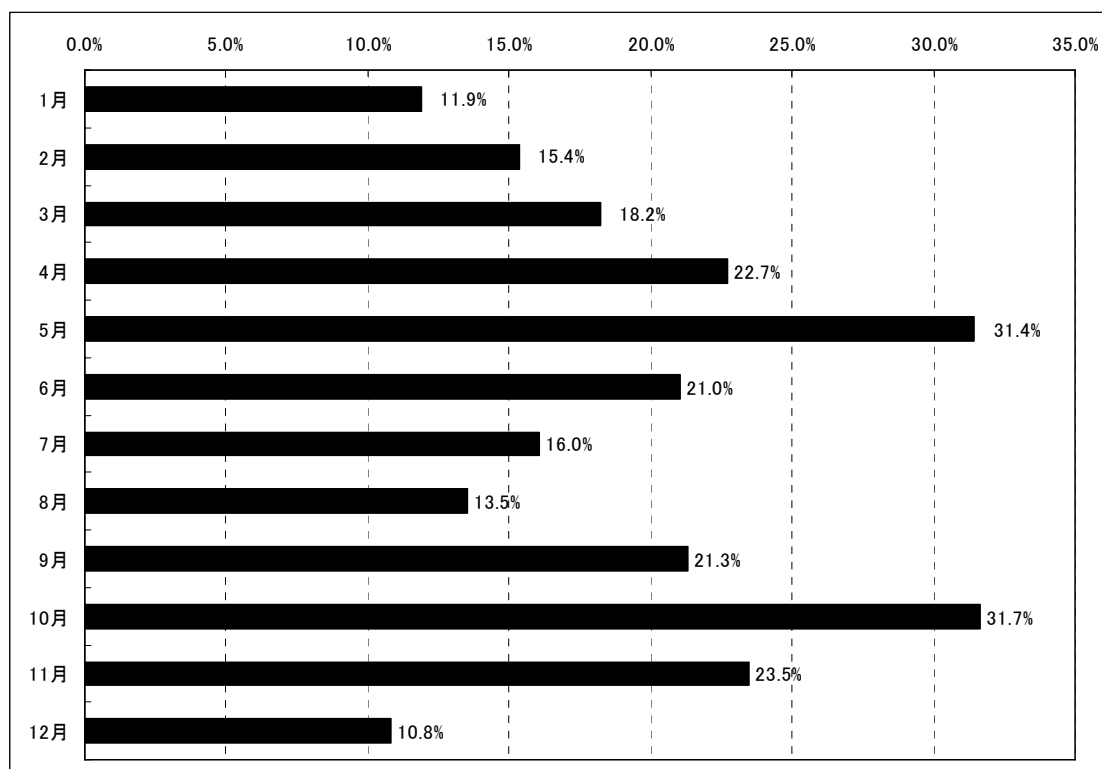
高齢層をターゲットに食肉イベントを開催する場合は、「野球場・スタジアム」のような場所は避けた方が良いものと考えられる。

## 6. 食肉イベント開催時期の要望

### 6. 1. 食肉イベントの開催月要望

図表Ⅶ-14 食肉イベント開催月要望状況

(単位:%)



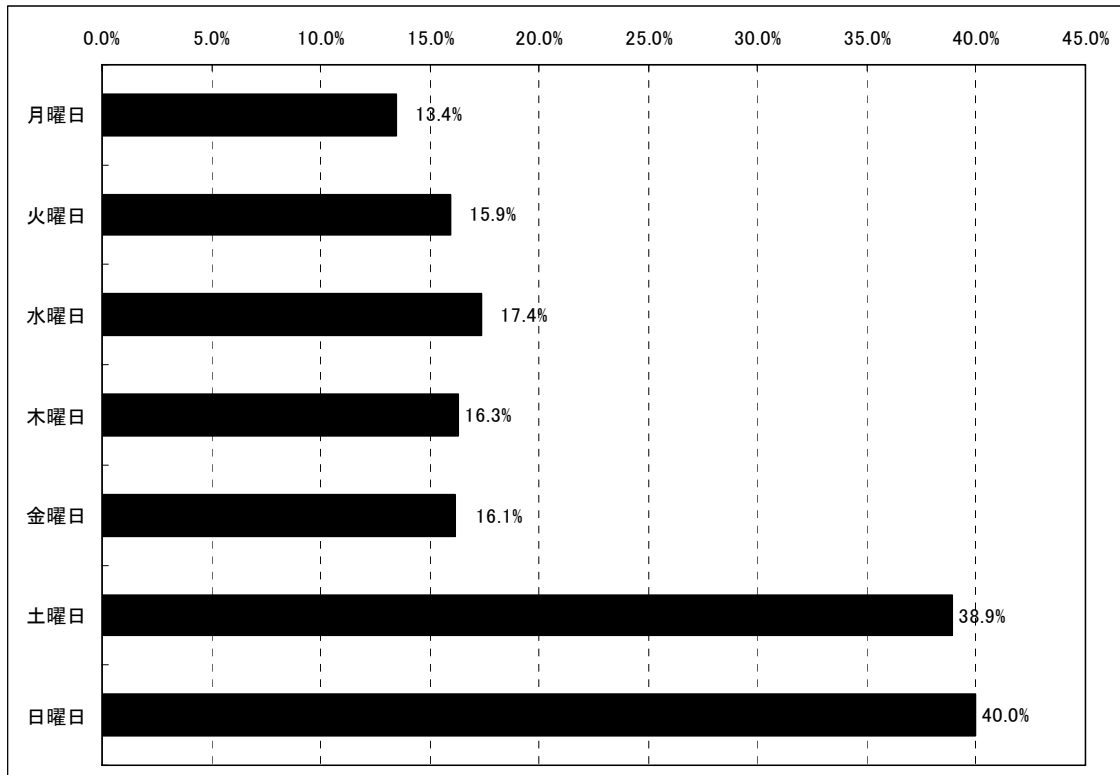
食肉イベントに参加しやすい月について尋ねたところ、「1月」から「5月」にかけて参加意向が高まり、「5月」をピークにして、以降、「8月」まで下がっている。その後、再び「10月」まで参加意向が高まり、「10月」をピークに、また「12月」まで下がっていく。このことから、食肉のイベントを開催するのであれば、気温の快適な「5月」、「10月」が時期的にふさわしく、寒い「12月」、「1月」や、暑くかつ夏休み中である「8月」は避けた方が良いこととなる。

なお、人気の高い「5月」、「10月」をさらに細かく見ると、「5月」については、上旬より、中旬、下旬の方が、参加意向が高かった。これは、おそらくはゴールデン・ウィークのある上旬が避けられたためだと思われる。「10月」は逆に上旬、中旬の方が下旬より参加意向が高く、下旬になると寒くなり始めるため、参加意向が低下しているものと考えられた。

## 6. 2. 食肉イベントの開催曜日要望

図表Ⅶ-15 食肉イベント開催曜日要望状況

(単位:%)



次に、食肉イベントに参加しやすい曜日について尋ねたところ、やはり勤労者の休日であることが多い、「土曜日」、「日曜日」に人気が集中した。

平日で見ると、「水曜日」が **17.4%**と最も参加意向が高く、「月曜日」が **13.4%**と参加意向が低かった。

食肉のイベントを開催する際には、「月曜日」を避け、「土曜日」もしくは「日曜日」に行うことが良いということがわかる。